

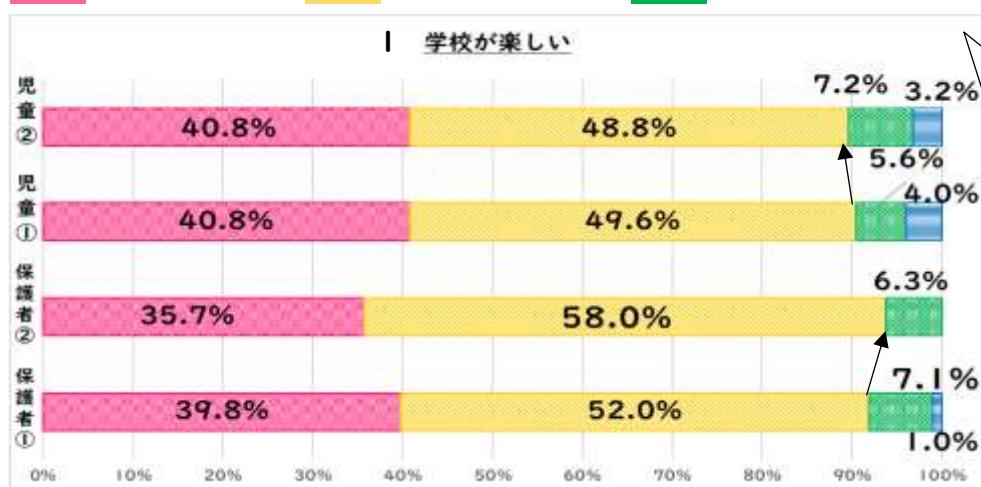
## アクションプラン(12月末まで)の結果及び学校評価アンケート(2学期)を踏まえた考察

富山市立水橋西部小学校

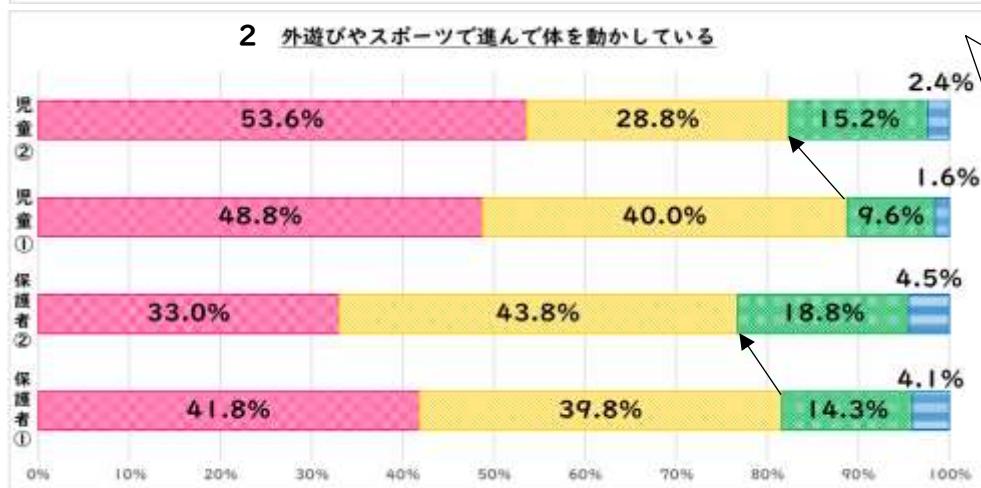
保護者アンケート及び児童アンケートの集計結果を報告いたします。子供たちは、2学期の生活を振り返り、保護者の皆様にはお子さんの様子から感じられたことについて回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

各項目について、児童、保護者の「とてもそう思う」「まあまあそう思う」「あまりそうとは思わない」「思わない」の割合を以下のとおりグラフに示しました。(②は二学期、①は一学期を表しています)

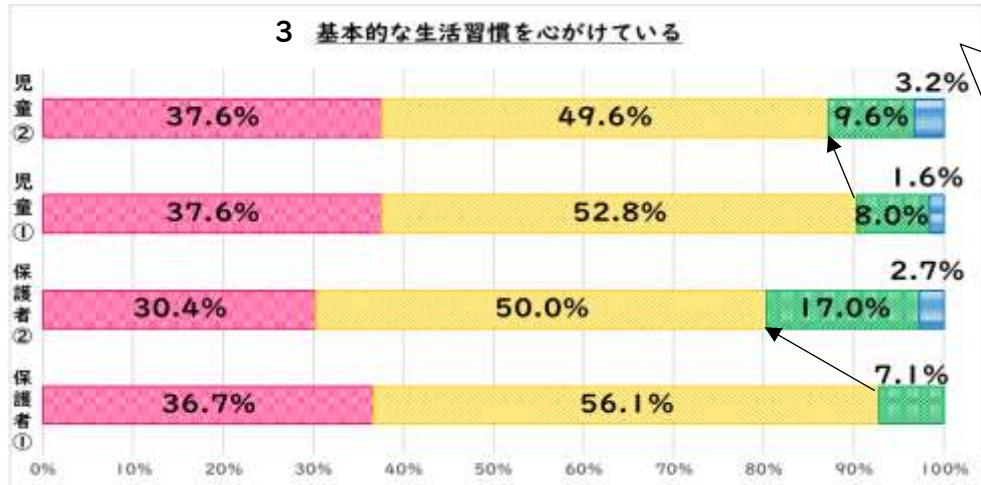
とてもそう思う。 まあまあそう思う。 あまりそうとは思わない。 思わない。



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 89.6%  
(▼0.8%)  
保護者 93.7%  
(+1.9%)



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 82.4%  
(▼6.4%)  
保護者 76.8%  
(▼4.8%)



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 87.2%  
(▼3.2%)  
保護者 80.4%  
(▼12.4%)

#### 4 家の人と決めたメディアの約束を守っている



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 79.2%  
(▼7.2%)  
保護者 51.7%  
(▼7.5%)

#### 5 授業の内容を理解している



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 94.4%  
(+1.6%)  
保護者 84.8%  
(▼1.9%)

#### 6 家庭学習に進んで取り組んでいる

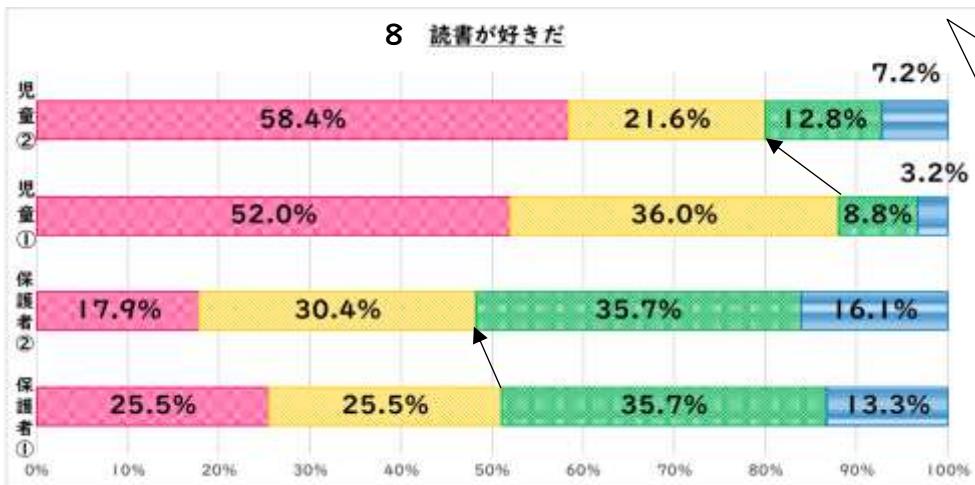


「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 80.8%  
(+8.8%)  
保護者 59.8%  
(▼1.5%)

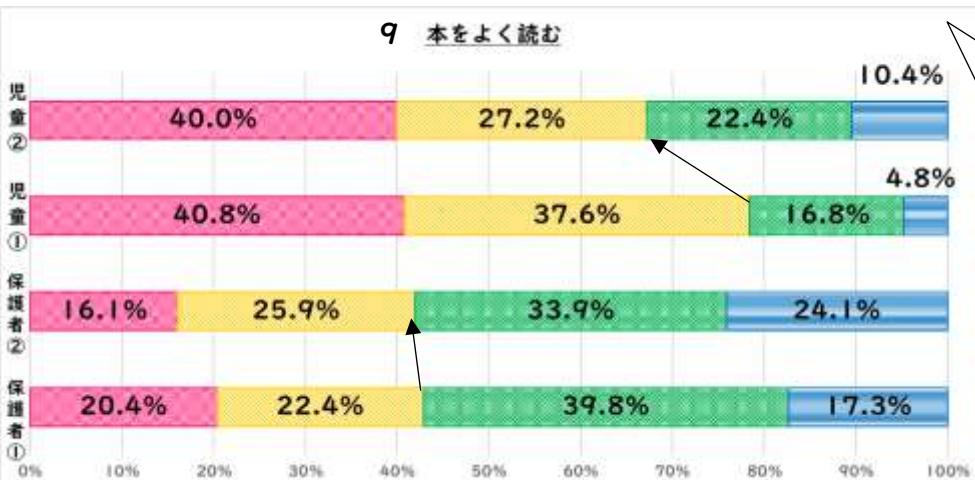
#### 7 家庭学習に目標をもって取り組んでいる



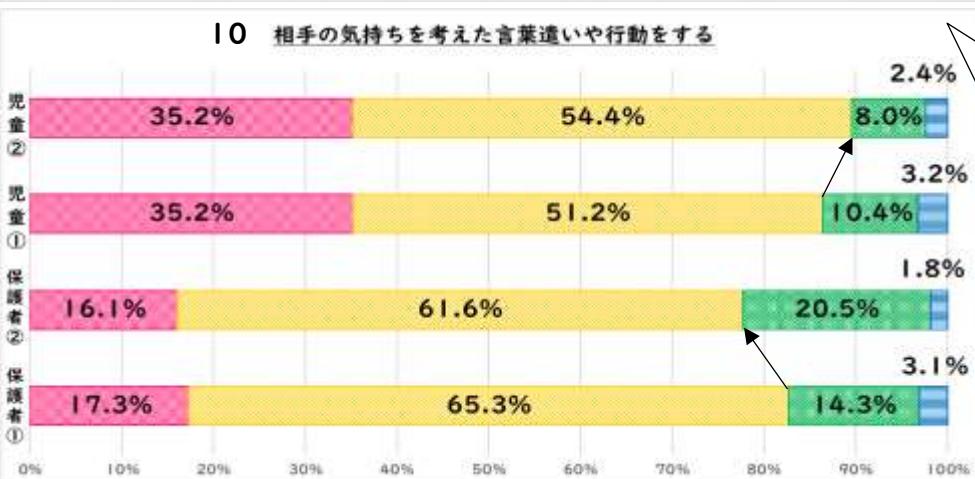
「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 76.0%  
(±0%)  
保護者 42.9%  
(▼4.0%)



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 80.0% (▼8.0%)  
保護者 48.3% (▼2.7%)



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 67.2% (▼11.2%)  
保護者 42.0% (▼0.8%)



「そう思う」の割合について、2学期の結果(1学期比)は  
児童 89.6% (+3.2%)  
保護者 77.7% (▼4.9%)

今年度、水橋西部小学校では、学校教育目標「仲間と関わり合い、暮らしをよりよくしていこうとする子供の育成」に向かって、(1)「『学校が楽しい』と思う子供の育成」、(2)「主体的に学ぼうとする子供の育成」、(3)「相手を思いやる心や、感動する心の醸成」に重点を置き取り組んできました。

12月末までのアクションプランの結果を、2学期の学校評価の結果を基に考察します。

#### (1) アクションプラン①

共通課題(数値目標)		出席率を97.0%にする。								
向上目標		「学校が楽しい」と思う子供を増やす。								
4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	平均		
98.4%	98.0%	99.1%	98.5%	98.7%	98.3%	97.5%	98.1%	98.3%		

## ○ アクションプランの結果（出席率より算出）

- ・どの月も出席率は 97%以上であり、また4月～12 月までの平均は 98.3%であることから、目標を達成することができたといえます。
- ・出席率が一番低い月は 11 月の 97.5%ですが、それでも目標より 0.5%高い結果になっています。

## ○ 学校評価による考察及び3学期の取組

- ・「1 学級で楽しく過ごしている」と答えた児童は 89.6%（1 学期比▼0.8%）、保護者は 93.7%（1 学期比+1.9%）でした。1 学期の結果と比べると、児童の割合は概ね変化はなく、保護者の割合は 2%程度増加したことから、比較的高い結果であったといえます。

2 学期には「楽しい学校にしようプロジェクト」から、たくさんのイベントが開催されました。ある子供は「ハロウィンの仮装パレードをしたい」と考えました。全校に呼びかけたところ多くの子供たちが賛同し、当日は、思い思いの衣装を身にまとった子供たちや教職員が校内を練り歩きました。また、「クリスマスパーティーをしたい」と全校に発信した子供もいました。特別なクレヨンを使って窓にクリスマスの絵を描いたり、段ボールと不織布でアーチを作ったりするなど、何日もかけてクリスマスへの気持ちを高める環境を整えました。当日、パーティー会場には多くの子供たちと教員が集まり、楽器演奏に合わせてクリスマスソングを歌ったりダンスを踊ったりしました。他にも、「さつまいもをみんなで育てて、秋には収穫祭をしたい」という子供の願いと「ファミリーで会食をしたい」という子供の願いを組み合わせ、みんなで掘ったさつまいもを給食献立の食材に組み込んだ日に縦割り会食もしました。さらに、「全校で逃走中をしたい」という子供の願いは、PTA の皆様のお力を借りて実現することもできました。こうして、子供たちは仲間と力を合わせて活動する楽しさややり遂げる喜びを味わうことで「もっといろんなことに挑戦してみたい」と様々な願いを表出するようになってきました。ただ、全校の1割程度の児童が「学級で楽しく過ごしている」と感じられない回答していることから、今年度末までに全校児童が「学校が楽しい」と思える機会を一つでももつことができるよう支援していきます。

- ・「2 外遊びやスポーツで進んで体を動かしている」と答えた児童は 82.4%（1 学期比▼6.4%）、保護者は 76.8%（1 学期比▼4.8%）、「3 基本的な生活習慣を心がけている」と答えた児童は 87.2%（1 学期比▼3.2%）、保護者は 80.4%（1 学期比▼12.4%）、「4 家の人と決めたメディアの約束を守っている」と答えた児童は 79.2%（1 学期比▼7.2%）、保護者は 51.7%（1 学期比▼7.5%）でした。いずれも1 学期に比べ、割合が減少しています。

外遊びやスポーツについては、2 学期後半の天候不良の影響も考えられます。放課後も、屋内で過ごす時間が長くなった分、メディアに使う時間が増えたのかもしれません。日常的に運動する機会をつくることが心と体の健康増進につながるものと考えています。そこで、11 月に行った学校保健委員会は、運動遊びをテーマに開催し、富山大学の学生（ムーバーズのみなさん）と一緒に身体を動かすゲームやダンスを行ったり、講師の先生から運動することの大切さを教わったりしました。また、朝、体育館を短縄跳び練習用として開放しました。登校してから朝の会が始まるまでの短い時間ですが、学年の枠を超えて練習する子供たちの姿がありました。担任も「短時間でも身体を動かすことで身体が温まり、朝から表情がよく思考も活性化している様子だった」と効果を感じていました。3 学期には、保健体育委員会が中心となって、縦割り班での長縄跳び記録会も計画中です。今後も、感染症予防を呼びかけながら、楽しく運動に取り組む機会をつくっていきます。

## (2) アクションプラン②

独自課題(数値目標)	家庭学習において、自己目標を達成する児童の割合を80%以上にする。					
向上目標	主体的に学ぼうとする子供を増やす。					
	7月	8・9月	10月	11月	12月	平均
	90.5%	93.6%	97.0%	93.6%	95.0%	93.9%

### ○ アクションプランの結果 (Google スプレッドシートでの自己評価より算出)

- ・どの月も達成率は 80%以上であり、また7月から 12 月までの平均は 93.9%であることから、目標を達成することができたといえます。
- ・達成率が一番低い月は7月の 90.5%ですが、それでも目標より 10.5%高い結果になっています。

### ○ 学校評価による考察及び3学期の取組

- ・「5 授業の内容を理解している」と答えた児童は 94.4% (1 学期比 +1.6%)、保護者は 84.8% (1 学期比 ▼1.9%) でした。1 学期と比べると多少の増減はあるものの、児童・保護者ともに 80% 以上が「理解している」と回答しています。3 学期は一年間のまとめの学期として、個に応じた丁寧な指導を行うことで基礎基本の習熟を図り、自信をもって進学・進級できるように支援していきます。
- ・「6 家庭学習に進んで取り組んでいる」と答えた児童は 80.8% (1 学期比 +8.8%)、保護者は 59.8% (1 学期比 ▼1.5%)、「7 家庭学習に目標をもって取り組んでいる」と答えた児童は 76.0% (1 学期比 ±0%)、保護者は 42.9% (1 学期比 ▼4.0%) でした。1 学期と比べ、児童の割合は増加傾向にあるのに対し、保護者の割合は減少しており、認識に大きな差がありました。

今年度、家庭学習の振り返りは Google スプレッドシートを活用して以下のように行いました。

- ・コースは「こつこつ(学校の宿題)」、「ぐんぐん(自主学習)」、「わくわく(興味のあること)」。
- ・子供は「丸の数を□以上とる」「□□コースを毎日続ける」「毎日□種類のコースに取り組む」からいずれか一つを選び、一週間取り組む。
- ・週末に目当てが達成できたかを振り返り、次週の目当てを決める。

子供たちは、毎朝登校後に、前日の家庭学習の振り返りをしているので、「家庭学習に進んで取り組んでいる」「目標をもって取り組んでいる」と感じていたのでしょうか。しかし、学校は、子供たちがどのような目当てをもって取り組んでいるのかをご家庭へ発信できていませんでした。保護者の皆様と共有することによって、学校と家庭の両方から子供たちを支えることができ、一人一人がより学力向上を図ることができたのではないかと考えます。今年度も残りわずかですが、HP に家庭学習カードに関する記事を掲載することで情報を発信していきます。ご家庭でも「今週の目当ては何?」「今日は達成できた?」と、家庭学習について話題にあげてみてください。

## (3) アクションプラン③

独自課題(数値目標)	毎月、心が動いた本を見付けられる児童の割合を90%以上にする。					
向上目標	相手を思いやる心や感動する心を育む。					
	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月
	99.2%	98.4%	96.0%	96.8%	96.8%	94.3%

○ アクションプランの結果（目標冊数から毎月の目安を設定して算出）

- ・どの月も達成率は90%以上であり、また6月から12月までの平均は96.9%であることから、目標を達成することができたといえます。
- ・達成率が一番低い月は12月の94.3%ですが、それでも目標より4.3%高い結果になっています。

○ 学校評価による考察及び3学期の取組

- ・「8 読書が好きだ」と答えた児童は80.0%（1学期比▼8.0%）、保護者は48.3%（1学期比▼2.7%）、また「9 本をよく読む」と答えた児童は67.2%（1学期比▼11.2%）、保護者は42.0%（1学期比▼0.8%）でした。1学期の結果同様、どちらの項目についても、児童・保護者間で認識の差が大きく、読書に関する意識の相違がみられました。児童の結果に注目すると①「読書は好きだけれど、本を読む時間は減った」、逆に②「本を読む時間は減ったけれど、読書は好きだ」とみることができます。

①「読書は好きだけれど、本の読む時間は減った」ことは、図書室における本の貸し出し冊数が、今年度は昨年度に比べて減少していることからもいえます。これは、今年度のアクションプランが、昨年度の「図書室で借りる本の自己目標冊数を達成する子供の割合を80%以上にする」から、「毎月、心が動いた本を見付けられる児童の割合を90%以上にする」と設定したことも関係していると考えられます。年間の貸し出し冊数ではなく、月に一冊でも心動かされる本に合うことを大切にしてほしいという思いからなのですが、本にふれる機会がなければ心動かされる本を見付けることもできません。3学期は、子供たちが定期的に図書室を利用する時間を各学級で設け、子供たちの「読書が好き」だという気持ちを伸ばしていきたいと思います。

②「本を読む時間は減ったけれど、読書は好きだ」とすると、月1回の読み聞かせによって良書に合う機会が保障されていたのだと考えられます。子供たちは、読み聞かせをとても楽しみにしていたと聞きます。学校では、今後も読み聞かせの時間を確保していくとともに、メディアコントロール週間には、家族と本にふれることのできる機会も仕組んでいきたいと考えています。

・「10 相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動をする」と答えた児童は89.6%（1学期比+3.2%）、保護者は77.7%（1学期比▼4.9%）でした。児童の割合が、1学期に比べわずかながら増加し、90%近くが「相手の気持ちを考えた言動をしている」と回答しています。

2学期は、児童会の子供たちが中心となって朝の挨拶運動を活発に行いました。一人一人に優しく声をかける児童会長や、最後の班が登校して来るのを校門で待ち、「おはよう」温かく迎え入れる児童会の子供たちの姿が、全校に温かな気持ちを広げていったことを感じます。立ち止まってお辞儀をして挨拶する低学年の子供、遠くに教員の姿を見付け「おはようございます！」と元気に声をかけてくる中学年の子供、手本を示そうとハキハキと挨拶をする高学年の子供。また、朝の縦割り清掃で、同じ班の仲間に声をかけることを心がけている6年生がいることも聞きました。どれも、とても素敵な姿です。

今年度も残り二か月となります。今後も、子供たちが充実した学校生活を過ごすことができるよう、いたいたご意見を生かしながら教育活動の改善を図り、「思いやりのある」「進んで学ぶ」「たくましい」天瀬っ子の育成を目指します。ご理解・ご協力をよろしくお願ひします。